

【第3号議案】

平成31年度・令和元年度いわて未来政策・政経研究会事業計画(案)

1 普及促進事業

- (1) 実施時期 随時実施
- (2) 実施方法 ピアールポスター、ホームページ、パソコンメール、電話、ファクス等で、会の趣旨・政策提言内容等を広くピアールし、併せて会員加入を促進する。報道機関の協力について積極的に働きかける。

2 会報発行事業

- (1) 発行時期 4月、7月、10月、2月の4回
- (2) 構成 会の活動・決算等報告、中心課題に関する「論壇又は随想」、「対談又はインタビュー」記事、会員の技・芸を紹介する「一人一芸～プロフェッショナル」、会員の声・随想を掲載する「会員だより」、「文芸コーナー(俳句)」、「人物紹介」などから構成
- (3) 中心課題 4月…「平成の時代を振り返りつつ未来を展望—平成の時代を駆け抜けた人々、私にとっての平成」、7月…「産業と経済—AI 始め科学技術の振興とも関連させて」、10月…「国民の生活と福祉—消費税増税・外国人材受入拡大等の新局面とも関連させて」、2月…「教育・文化・スポーツの振興—ラグビーワールドカップの成果を活かす、東京オリンピックまで1年」
- (4) 印刷方法等 パソコンで作成・印刷し、写真も挿入する。できるだけ低廉な方法で会員等に届ける。
- (5) 配付 会員に配付するとともに、会の活動を広くピアールし、また、掲載内容が各方面のまちづくり活動に寄与できるよう、県や市の関係行政機関や図書館、さらには報道機関等に配付する。

3 講演会等

- (1) 開催時期 ① 5月18日(土曜日。総会開催日)の総会后
② 11～12月
- (2) 開催場所 ① 5月18日(土) プラザイン水沢(奥州市水沢)
② 奥州市内会場
- (3) 講師 ① 5月…齋藤 徳美氏
(岩手大学名誉教授、元同大学副学長、同工学部教授—防災工学、元放送大学岩手学習センター長)
② 11～12月…文化・スポーツ界の人材等を検討
- (4) 交流会 終了後、会費制で講師を交え、交流会(懇親会)を開催する。

4 政治家、行政政策責任者等との意見交換会

- (1) 開催時期 2月
- (2) 開催場所 奥州市内
- (3) 実施内容 政治家、行政政策責任者等を招き、講話いただいた後、意見交換する。

5 行政機関、政党等への政策提言活動

- (1) 実施時期 12月～2月(文書による提言行動)
- (2) 実施場所 行政機関、政党等の事務所
- (3) 実施方法 ①4月及び7月の会報で会員に呼びかけ、意見等募集→②10月の会報で中間報告→③11～12月の役員会で提言内容と活動手順を確認し、マスコミ発表→④12月～2月に文書による提言行動

6 いわて平成松下村塾運営事業

- (1) 実施時期 第八期7～8月、第九期1～3月
- (2) 実施場所 奥州市内のいわて未来研事務所又は公民館等
- (3) 実施方法 塾生は公募し、首長経験者、議員経験者等が講義・指導する。

7 会員等親睦交流事業

- (1) 実施時期 9～10月
- (2) 実施場所 県南地域の観光地を中心に検討
- (3) 実施内容 水沢自動車学校バス(9人乗り)と参加者マイカーに分乗し、研修視察しながら、懇談交流。
- (4) 実施方法 会員による実行委員会を組織して実施。7月号の会報で参加を呼びかける。会費制(マイカー利用者は比較低額に)、昼食懇談会実施など。会員以外の参加も歓迎。

8 その他の事業

- (1) 報道機関等の協力を得ながら政策提言・表明を積極的かつ効果的に行なう。
- (2) その他会の目的達成のため必要な事業を行なう。

上記のとおり提案致します。

令和元年5月18日

特定非営利活動法人

いわて未来政策・政経研究会 会長 相原 正明